



えびはら ともゆき
海老原 寛孝さん



やまつた こうたろう
山蔦 幸太郎さん



たかの としみつ
高野 智光さん



のぐち よしのり
野口 嘉徳さん

ます。そこに、例えばメンバーが代わる代わるサポートに入るとか、新しい支援の体制をつくるのか、そういったところで僕たちマスターズを使ってもらえたらと思っています。市長 ではマスターズを一言でいうと？

山蔦 トマトにしてもダイコン、ニンジンにしてもみんなそれぞれ特徴があつて、まったく味が違うんですよ。だからおもしろい。みんなこだわって作っているから。

東郷 そうですね。同じ野菜でもみんな味が違うので。だからそれぞれのファンがいるって感じです。それぞれにこだわりを持ってやっているっていうのと、農業経営者であるっていうことが、僕らマスターズです。

市民が農業に触れる機会を提供できたら

東郷 板橋小学校のキャリア教育の一環で、農業者として講演してこないかと依頼があつて、話をしたことがあります。

山蔦 去年は三島小学校でもやったよね。

東郷 呼んでいただければいくらでも協力したいと思います。

市長 そういいのはいいよね。対象を大人にも広げてみたら。農産物のイベントみたいなのをやって、そこで話をして、野菜も売ってという仕

組みだと大人も楽しめるかもしれないね。みらい平地区の公園とかで農業フェアみたいなことをやったら面白いんじゃないかな。

山蔦 農業者として話すなら、土づくりの話とか、微生物の話からしていきたいですよ。

市長 なんかそういうので興味を持つてもらつて、「あ、なんかこういう人たちが働いてるんだな」っていう方が身近に感じやすいかな。特にみらい平地区のみなさんにつくばみらい市の農業を感じてほしい。

東郷 あとは農業体験を入れるかどうかですよ。実際に体験することが近道だと思います。

市長 例えば、市民農園はどうなんだろう。

山蔦 興味がある人は結構いるんじゃないですか。逆に、始めてみて、草取りとかの管理が大変でやめちゃう人も多いと聞きます。

東郷 最近の流行としては、香取市の農事組合法人でやっているものがあります。草取りとか農産物がある程度管理してくれて、利用者は来たいときに来る。そして、グランピング

みたいな泊まれるところもあるというようなのが人気みたいですね。

市長 なるほど。ちゃんと利用者から管理費用をもらつて、設備もある程度充実させる、っていうことね。

それをつくばみらい市でできないのかな。市の土地も活用できるよね。畑も田んぼもあるし。

高野 市の田んぼもあるんですね。そういうところで田植え体験もできますね。

海老原 私の妻が以前、子どもたちに自然遊びを教えるような団体で働いていたんですが、土を触ったことがない子とか、虫一匹で大はしゃぎするような子が多いらしいんです。そういう子どもたち、大人もですけど、まずは体験してもらつて、それが大切だと思うんですよ。野菜作りでも田植えでもいいんですけど、体験してもらつて5年後、10年後につながっていくのかなと思いますね。利益はもちろん、最終的には追及しますが、やっぱり順番としてその人たちに興味を持ってもらつて、喜んでもらわないと。

新たな特産品!?! トマトのジェラート

市長 自分たちの作った農産物で何か新しいアイデアはあるの？

東郷 ジェラートとか作りたいよね。トマトでできないのかな。

野口 できますよ。今は良い機械があるからなんでもできますよ。トマトでもほかの野菜でも。何種類か作つて、例えば大勢の人が集まる市のイベントで試食してもらつてか、販売するとか。みらいマラソンはかなりの人数が集ま